

地域提案型

平成21年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	パラグアイ
2. 事業名	香川らしい国際協カプロジェクト「パラグアイにおける農産物利活用支援プログラム」
3. 事業の背景と必要性	<p>ラ・コルメナ市においては、農業が主な収入源であり、収穫される農産物（果物、野菜、サトウキビ等）は国内市場でも高質なものとされているが、直接気候の影響を受け収量が安定していない。また、市場規格外の余剰農産物については、搬送コストが課題となりマーケットへの直売もされないまま廃棄されており、収入低下を招いている。</p> <p>したがって、農業者の収入は最低賃金の半分以下（約100ドル/月）であり、家族が外国に出稼ぎに行き、仕送りでやりくりしている状況にある。さらに、収入が低いと、十分な教育、保健サービスがまともに受けられず悪循環に陥っている。</p> <p>一方、本県では、温暖な気候により多品目の農産物の生産をしているものの、県土面積が最も狭く他産地に比べ生産規模が小さいため、量に依存した有利販売には限界があることから、特色ある農産物の生産を推進し、有利販売を促進していくため、消費者ニーズの確かな把握に基づくブランド化を推進している。食品産業等と地域農業の連携を強化し、県産農産物を加工利用した新製品の開発やその販路拡大を進めており、それらの取組み事例はラ・コルメナ市の課題解決に寄与することができると考えている。</p>
4. 事業の目的	農産物の生産や販売等を考慮した加工に関する知識・技術の向上
5. 対象地域	ラ・コルメナ市
6. 受益者層	農産物の生産、加工、販売に携わっている人、農業従事者
7. 活動及び期待される成果	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> マーケティング能力が向上する。 農産物加工技術を習得する。 <p><活動></p> <ul style="list-style-type: none"> 現地職員等を対象とした農産物利活用に関するセミナーの開催（香川県における取組み事例の紹介等） 現地の状況把握 情報提供 県庁内の業務従事課による農産物の生産、加工、販売に係る研修 農協など関連機関における研修 関連施設の視察 等
8. 実施期間	平成22年度～24年度
9. 事業の実施体制	<p>香川県：県農業生産流通課、県産品振興課、農政課、農業経営課の職員がラ・コルメナ市においてワークショップやセミナーを開催。また、研修員受入時には研修視察の同行、講義などを担当。</p> <p>パラグアイ：ラ・コルメナ市を中心にコルメナ・アスンセーナ農業共同組合ラ・コルメナ事務所と共催で香川県職員訪問時におけるワークショップを共催で実施。また、香川県人会も側面支援する。</p>
II. 実施団体の概要	
1. 団体名（提案自治体）	香川県（香川県）
2. 対象国との関係、協力実績	ラ・コルメナ市では、昭和11年に香川県人を含む日本人の移住が始まり、日本人のパラグアイ移住発祥の地となっている。香川県では、ラ・コルメナ市を含むパラグアイから海外技術研修員として医療、建築、農業、教育など幅広い分野で研修員を受入れてきた。また平成18年からは、小豆島の土庄町とも友好交流がある。